305

川崎入厩

父)フェアリーワルツの04　牡・鹿毛 2004年1月30日生

全20口 ●1口50万円（総額1,000万円）

生 産 追分ファーム　繋 養 追分ファーム

アドマイヤコジーン 芦 1996	コジーン Cozzene 芦 1980	Caro	*フォルティノ
			Chambord
		Ride the Trails	Prince John
			Wildwook
	アドマイヤマカディ 栗 1991	*ノーザンテースト	Northern Dancer
			Lady Victoria
		*ミセスマカディー	*トライバルチーフ
			Hanina
*フェアリーワルツ Fairy Waltz 鹿 1999	リアファン Lear Fan 鹿 1981	Roberto	Hail to Reason
			Bramalea
		Wac	Lt. Stevens
			Belthazar
	クイックアンドスムース Quick and Smooth 鹿 1992	Crafty Prospector	Mr. Prospector
			Real Crafty Lady
		Ms. Balding	Sir Ivor
			Vanilla (A1)

ポイント　POINT

本馬を見てまず目に付くのが首の太さです。スタッフが引いている時も、歩いているだけなのに引っ張られそうになるほど馬力があります。放牧地でも元気一杯で、首を低くして走る姿は重戦車という表現がピッタリで、少しでも前に出ようとする勝負根性も見せてくれます。他馬がイレ込んでいるような時でも、どんと構えている様子からもかなり強い精神力をもっているようです。走るフォームや蹄の形からダートでの走りは上手そうに感じます。父同様に早いうちからマイル前後の距離での活躍が期待できるでしょう。